APC ニュース第 199 号

第 89 回 IEC ニューデリー大会参加報告

IEC 活動推進会議 事務局長
小坂　英明

第 89 回 IEC 大会が、2025 年 9 月 15 日～9 月 19 日にインドの首都ニューデリーにて開催されました。

大会の参加登録者数は 2,722 名を数え、コロナ禍後の対面開催で最大規模となりました。（表 1）

図 1 IEC ニューデリー大会会場

［表 1 近年の IEC 大会参加登録者数］

開催年	開催場所	参加登録者	うち、日本	備考
2015	ミンスク	1289	110	
2016	フランクフルト	3227	410	
2017	ウラジオストク	1381	194	
2018	釜山	3375	471	
2019	上海	3614	494	
2020	ジュネーブ（リモート）	790	34	リモート開催
2021	ドバイ（ハイブリッド）	890	37	ハイブリッド開催
2022	サンフランシスコ	2218	306	
2023	カイロ（リモート）	1,977	162	リモート開催
2024	エジンバラ	1908	133	
2025	ニューデリー	2,722	230	

国別の参加者では、日本はインド（530 名）、中国（339 名）に次ぐ 230 名の登録がありました。（表 2）

［表 2 今大会の国別登録者数（上位）］

1	インド	530	7	イタリア	76
2	中国	339	8	フランス	74
3	日本	230	9	英国	61
4	ドイツ	174	10	カナダ	48
5	米国	128	11	デンマーク	39
6	韓国	106	12	スウェーデン	36

大会期間中に総会(GA：General Assembly)をはじめ、評議会(IB：IEC Board)、標準管理評議会(SMB：Standardization Management Board)、適合性評価評議会(CAB：Conformity Assessment Board)、市場戦略評議会(MSB: Market Strategy Board)などの IEC 上層の各委員会や、IEC Forum、Asia Pacific Cooperation Forum(APCF)など各種の会議、イベントが実施されました。(表 3)

[表3 主要会議日程]

	会議・イベント名	時間(GMT)
9/14(日)	PresCom	AM
	APCF	13:00-15:30
	APCF Reception	16:00-19:00
9/15(月)	SMB	08:30-17:30
	CAB	08:30-17:30
	MSB	08:30-17:30
	Open Ceremony & Welcome reception	19:30-22:30
9/16(火)	IEC Forum	09:00-13:00
	Joint CAB MSB SMB Strategic Session	14:00-17:00
9/17(水)	IB	08:30-17:00
9/18(木)	IEC Academy & Capacity Building workshop	09:00-12:30
	MSB White Paper Session	14:00-15:30
	NC Presidents' Forum	14:00-15:30
9/19(金)	General Assembly	08:30-15:30
	Open Session	15:45-18:30
	Closing Ceremony & Farewell	19:30-22:00
9/20(土)	PresCom	AM

本稿では IEC の最高意思決定機関である総会(General Assembly)の概要を報告いたします。

1. IEC 役員及び上層委員会委員(選挙結果等)

現 IEC 財務監事の Pierre SELVA 氏(仏)や SMB 議長(兼 IEC 副会長)の再任(2期目)が承認されました。

図2 総会の様子

また、IB(評議会)、BAC(ビジネス諮問委員会)、SMB(標準管理評議会)および CAB(適合性評価評議会)の各委員についても選挙が実施されました。日本からは、IB 委員として、岡本氏(東京電力パワーグリッド)の 1 期目が、SMB 委員として岡本氏(日立製作所)の 2 期目が承認されました。(表 4 参照)。

［表4 総会での選挙結果］※いずれも任期は 2026 年～2028 年

ポスト	氏名（国）
IEC 財務監事	Pierre SELVA 氏（仏）＊再任
SMB 議長	Vimal Mahendru 氏（印）＊再任
IB委員（グループ A 国）	選出：岡本氏（東京電力パワーグリッド）を含む 5 名（日本、フランス、米国、英国、ドイツ）
BAC 委員（グループ A 国）	再選：2 名（米国、英国）
BAC 委員（非グループ A 国）	再選：3 名（オーストラリア、オランダ、ノルウェー）
SMB 委員（グループ A 国）	再選：岡本氏（日立製作所）を含む 6 名（日本、フランス、米国、英国、ドイツ、イタリア）
SMB 委員（非グループ A 国）	再選：3 名（オーストラリア、オランダ、スウェーデン）
CAB 委員（グループ A 国）	選出：2 名（フランス、米国）
CAB 委員（非グループ A 国）	再選：2 名（ブラジル、スイス）

2. 財務関連

2024 年監査済み IEC 法定財務諸表、2026 年予算案及び 2026 年各国分担金案は、以下の内容で承認されました。

●2024年監査済IEC法定財務諸表の承認

【収支】

収入：34.3百万CHF（58.7億円） 2023年比 +4.6%
支出：37.9 〃 （64.8 〃） 〃 +8.5%
収　支：−3.5 〃 （−6.0 〃 ）

※2024年年間平均TTB レート：1スイスフラン＝171.20 円で換算

●2026年IEC法定予算案の承認

【IEC法定予算案】

総収入：38.0百万CHF（65.4億円）2024年予算比 +10.2%
総支出：41.3 〃 （71.0 〃） 〃 −0.6%
収　支：−3.3 〃 （−5.7 〃）

※予算要求レート：1スイスフラン＝172円で換算

●2026年各国分担金

各国分担比率に変更なし（日本は8.18%）
分担額は1.0%増
0.99百万CHF（1.7億円）

※予算要求レート：1スイスフラン＝172円で換算

３. 今後の IEC 大会開催予定国（都市）

2026 年の IEC 大会がハンブルグ（ドイツ）にて 2026 年 11 月 14 日～11 月 20 日に開催されることが確認されました。

2027 年の開催地については、シンガポールでの開催が承認されました。（表 5 参照）。

［表５　2026 年以降の IEC 大会開催予定］

開催年	国（都市）［開催期間］
2026 年	ハンブルグ（ドイツ）
2027 年	シンガポール
2028 年	未定
2029 年	日本が招致を宣言
2030 年	フランスが開催検討を表明

■　所感

今回の大会は、もともとイスラエルで開催予定でしたが、地政学的な事象の影響で急遽インド開催となった経緯があり、今年初めの段階では、準備にかなりの遅延が見られましたが、実際に開催された大会では大きな混乱もなく、ある意味でインドがその底力を見せたものとなりました。

また、インドの大臣が、モディ首相の方針に触れつつ、インドの経済成長における標準化の重要性及び持続可能社会・循環型社会へのコミットメント、さらに、Quality と Sustainability の重視についてスピーチするなど、主催したインド標準規格局（BIS）は、全面的に政府のバックアップを得ていたようです。

さらに、今回の IEC 大会では、昨年に引き続き、①SMART、OSD 等の DX を活用した規格開発に関するセッションが設けられるとともに、②SMB、MSB における将来の標準化テーマ、AI セミナーなどが行われました。DX により国際規格開発の現場、及び、規格利用サービスが大きく変わりつつあると同時に、同じ文脈ともいえる AI 等への標準化アプローチを活発に議論する場が多く設けられていました。

以上